

2022年度  
第17回音楽教育ゼミナール  
リサーチ・メソッドを学ぶ

講義と演習を組み合わせたチュートリアルセミナー

zoomオンライン開催

8月18日(木) 10:00~16:00

8月28日(日) 10:00~16:00

先着各30名

- ゼミナール1：8月18日(木)  
ELANを用いたコミュニケーション分析  
講師：山本敦 先生  
(早稲田大学人間総合研究センター招聘研究員)
- ゼミナール2：8月28日(日)  
調査・統計—データを集める・データを使いこなす—  
講師：太田拓紀 先生(滋賀大学教授)

参加費

会 員：2日間参加 1,000円 | 1日参加 500円

会 員(大学院生・学部生)：無料

\*学生証コピーを添付の上, 申込みください

非会員：2日間参加 1,500円 | 1日参加 1,000円

\*納入方法はお申し込み後, 参加確定のメールにてお知らせいたします。

お申込みは  
こちらから



6月1日(水)より申し込み受付開始  
<https://forms.gle/XbWHf3GUD9WjFTpL8>

## ゼミナール1:ELAN を用いたコミュニケーション分析

講師:山本 敦(早稲田大学人間総合研究センター招聘研究員)

趣旨:ELANはマルチモーダルなコミュニケーション分析ツールとして近年多様な分野で用いられ、音楽的コミュニケーションへの適用可能性も期待される。一方可能性の広さゆえに使い手の発想と使い方が課題にもなる。ゼミナール1ではELANの使い方を基礎から学び、動画を用いた演習を通してELANを用いた研究過程で大切なことは何か、自身の研究の中でいかにELANを活用できるか、参加者それぞれの課題意識に照らして考える場にしたい。

## ゼミナール2:調査・統計—データを集める・データを使いこなす—

講師:太田 拓紀(滋賀大学教育学部教授)

趣旨:質問紙調査や統計は音楽教育研究においてもよく用いられる。統計分析の基本的な考え方を理解しておくことは、そうした研究を読み解くためにも、また多様な分析手法を使いこなすためにも必要である。ゼミナール2では、統計分析の基本であり、様々な分析の前提となる統計的検定の考え方を正確に理解した上で、調査計画の構築、質問紙の作成・データ分析の基礎までを演習を取り入れながら学ぶことを目指す。

第17回音楽教育ゼミナールは、音楽教育研究において重要な位置を占める観察研究と調査・統計研究の手法について取り上げ、Zoomを用いたオンラインで開催します。1日目はコミュニケーション分析のツールであるソフトウェアELANの活用について、2日目は統計学の入門から質問紙調査の設計・分析までを、それぞれ演習を交えて学びます。観察研究と調査・統計はクロスするところも大いにありますので、両日参加をお勧めしますが、1日のみの参加も受け付けます。新たな研究手法の習得やスキルアップを目指す皆さまのご参加をお待ちします。

お読みください

### 【参加費】

会員:2日間参加 1,000円 1日参加 500円

会員(大学院生・学部生):無料(\*学生証コピーを添付の上、申込みください)

非会員:2日間参加 1,500円 1日参加 1,000円

\*参加費の納入方法については、参加確定のメールにて個別にお知らせします。

### 【参加申込】

申込みは6月1日より開始します。チラシ表面記載のGoogleフォームにてお申込みください。

### 【参加定員】

各ゼミナール定員30名とします(先着順)。定員以内であることを確認した上で、Googleフォームに入力いただいたメールアドレスに参加確定のご連絡をお送りします。

### 【お問い合わせ】

onkyoiku.17seminar@gmail.com

実行委員

今川恭子(企画担当理事, ELAN統括), 杉江淑子(企画担当理事, 調査・統計統括), 市川恵, 伊原小百合, 岡ひろみ, 多賀秀紀